研究プロジェクト

「インパクトが企業価値等に与える影響に関する研究分析」

● 背景

企業が ESG の価値やインパクト（地球環境や社会経済システムへの影響）を定量的に示し、計上する動きが進んでいる。米ハーバード・ビジネス・スクール（HBS）の「インパクト加重会計イニシアチブ（IWAI）」が雇用インパクト等の計測手法を開発しているほか、G7 イギリス議長国下でも民間主導によるインパクト会計・投資の作業部会で議論が行われた。国内においても、IWAI の手法を、日本版にアレンジ・実践する動きなどが見られる。一方、インパクトが企業価値へ与える影響や財務会計に反映させることの適切性、それらを分析するためのデータや汎用的な計測手法については、国際的にも議論・開発の途上である。

● 研究内容

上記のような背景のもとで、インパクト会計手法・開示事例等に関する国内外の事例調査を行うとともに、国内外の企業行動が環境・社会へ与えるインパクトと企業価値との関係に定量分析を行い、環境・社会へのインパクト（可能な限り、GHG 排出等の悪影響だけでなく、企業による環境・社会への好影響や、悪影響を軽減しようとする努力も含む）が企業価値にどのような影響を与え得るか、特に日本企業にどのような示唆があり得るかについて、中長期的な時間軸も意識し、学術的な観点から分析する。